

平成30年度 第4回国府町地域振興会議

日時 平成30年8月28日（火） 13:30～15:30

場所 国府町総合支所 第1会議室

〔出席委員〕 森原喜久、山崎豪太郎、山田準二、田中道春、正木直志、木下敏明、
桑原英樹、安木秀明、岸本武司、山根玲子、澤田寛子

〔欠席委員〕 森田わか子

〔事務局〕 竹氏支所長、岸田副支所長兼地域振興課長併教委分室長、上田市民福祉課長
前田産業建設課長、吉田地域振興課課長補佐

会議次第

1. 開会
2. あいさつ（森原会長）
3. 協議事項
 - （1）視察研修（案）について
 - （2）鳥取市新庁舎整備状況視察について
4. 報告事項
 - （1）特定課題提案への対応について
 - （2）協働のまちづくりに関するアンケートの実施状況について
5. その他
6. 閉会

議事概要

3. 協議事項
 - （1）視察研修（案）について
事務局の原案どおり、豊岡市立歴史博物館が視察先として決定。
今後は、事務局が視察先と委員の日程を調整し、視察の日時を決める。11月下旬。
 - （2）鳥取市新庁舎整備状況視察について
視察は10月24日（水）に実施し、同日に第5回地域振興会議を開催予定。
4. 報告事項
 - （1）特定課題提案への対応について
今後の対応として以下のとおり決定した。
 - 支所だより等でオオキンケイギク駆除への協力を呼びかける。
 - 自治会の一斉清掃で、オオキンケイギク駆除への協力を依頼する。
 - 公共施設内において、オオキンケイギクの有無の確認と駆除の徹底を周知する。また、一般の人では見わけが難しいのではないかと意見があったので、カラー写真などの資料が市民の目に触れるようにしていくこととなった。

(2) 協働のまちづくりに関するアンケートの実施状況について

〔委員〕市がアンケート調査を行ったが、回答の結果がまちまちで、決まった方向性が示せないため、佐治地区と国府の宮下地区でモデル地区を設定し、今後の組織のあり方について試行しているというのが現状だろうか。

〔事務局〕全市的な方針を示すのが困難なので、それぞれの地区で可能なやり方を検討していただく。関連で、現在宮下地区では、地域の中で同一の人が複数の会に所属している状況の有無などについて調査を行っている。

〔委員〕これからは、女性も様々な企画の場に入っていく必要がある。事業をこなしていくだけでなく、心の教育も必要と感じる。

〔事務局〕まちづくり協議会の構成メンバーには、女性も多く含まれており、様々な声を取り上げてこられているようです。

〔委員〕資料の中に指定管理者制度という言葉が出てくるが、指定管理者で行くということが前提になっているのか。

〔事務局〕それは各地区で考えることで、指定管理が良いと判断されればそちらに向かっていくことになるでしょう。

〔委員〕仮に指定管理になるという判断は支所と公民館のどちらがするものか。

〔事務局〕地区公民館やまちづくり協議会の判断となります。

〔委員〕状況によっては国府の5つの地区が、それぞれ別々お洗濯をすることもあり得るか。

〔事務局〕各地区のやり方が違うこともあり得ます。

〔委員〕公民館長には指定管理の話は伝わっているだろうが、まちづくり協議会の会長には伝わっていないのではないか。

〔事務局〕この話は、自治連地区会長会とか地区公民館長会といった場で話はしてあるが、これまでまちづくり協議会の会長が一同に集まるようなしくみはないため、十分には伝わっていないと思います。

〔委員〕アンケートには「市民」という言葉が出てこない。協働のまちづくりという視点から言うと違和感がある。

〔委員〕持論だが、今後地区公民館を中心にまちづくりを進めていくのであれば、公民館は将来的には市長部局に持っていくのがいいと思う。

〔事務局〕ご意見として伺っておく。

このアンケートの件については、早く市民にも周知する必要は感じています。今後、市民自治推進委員会の主催する「まちづくりフォーラム」等を通じて、市民に周知する機会もあると思いますので、ご理解をお願いします。

5. その他

○イベント等についてチラシにより事務局から報告。

○次回は10月24日 国府町総合支所開催。終了後新庁舎整備状況の視察。

6. 閉会